

平成 17 年度号 No.25 平成 17.8.1 発行
〒275-8511 千葉県習志野市泉町 2-1-37
東邦大学附属東邦中学校・高等学校同窓会
TEL/FAX 047-472-1160
URL <http://www.dosokai.org>
E-mail tohojh_dousoukai@yahoo.co.jp

目 次

- 同窓会総会開催案内…………… 1
- 会長あいさつ…………… 2
- 学校長あいさつ…………… 3
- 同窓会のこの1年…………… 4
- 新棟セミナー館完成…………… 6
- 同窓生のページ…………… 7
- 特別寄稿…………… 8
- 文学散歩…………… 10
- 学校の近況…………… 12
- 退職にあたって…………… 13
- 平成 17 年度入試結果 …… 14・15
- 新入会員を迎えて…………… 16



題字：創立者 額田 晋先生 書

同窓会総会開催案内

日 時 平成十七年八月二十七日(土)
会 場 東邦大学付属東邦中高等学校内
セミナー館 四階 視聴覚大ホール

受付開始 十四時

◆東邦大学創立80周年式典記録

ビデオ放映

◆セミナー館施設案内

総会開始 十五時

懇親会スタート

議 案

- 十六時(会場 一階カフェテリア)
- ・平成十六年度事業報告
- ・平成十六年度会計報告
- ・平成十七年度事業計画案
- ・平成十七年度予算案
- ・その他

学校の近況報告

- ・東邦中学校・高等学校入学をとりま
- く状況
- ・大学進学状況に関して
- ・その他

※先生方からご説明を頂きます。ご家族
同伴の出席可。

懇親会 総会終了後、懇親会を行います。

会費は、正会員五千円、学生会員千円
とし、平成十七年三月卒業の新会員はご
招待とさせていただきます。また、会員同伴
のご家族からの会費徴収は致しません。

★出欠のハガキは八月二十五日(水)ま
でにご返送下さい。なお、今年度は
FAXでの回答はご遠慮下さい。

TEL ○四七四七二一六〇

学校法人東邦大学創立八十周年事業と

母校セミナー館の完成について

中高同窓会長 鮎川二郎（七期卒・現千葉商科大学教授）



会員の皆様には、益々ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。本会報の発行を機に表題につい

ての概要を紹介させていただきます。

六月十二日（日）、品川・新高輪プリンスホテル国際館パミールで、学校法人東邦大学創立八十周年記念式典および祝賀会が多くの来賓・同窓生・職員・関係者の方々が列席されて盛大に開催されました。本同窓会からは、この周年事業に対して五十万円の寄付をさせていただき、記念式典および祝賀会には私を含め八名の理事が出席しました。

記念式典では、会場中央の壇上に創立者の額田豊・額田晋両先生の肖像画が掲げられ、荘厳な雰囲気の中で開始されました。先ず、野口鉄也理事長から八十年の歴史の紹介、学祖の理念と現法人の経営理念、さらに創立以来法人内外からお力添えをいただいた関係者への感謝の言葉が述べられました。

続いて、青木継稔学長から将来に向けて大学全体の目標と時代のニーズに応じた教育・研

究の理念や目的、抱負が述べられました。さらに卒業生を代表して、医学部東邦会会長の舩松洋氏から、創立八十周年に対する祝辞と、帝国女子医学・薬学、理学専門学校から、今日の学校法人全体までに世に巣立った卒業生総数が約六万二千名に達していることに對する感謝と、今後の母校のより発展には、母校と卒業生の密接な関係維持が重要であり、そのために限らない支援をする旨が述べられました。

来賓祝辞では、中山成彬文部科学大臣代理高等教育局私学部長金森越哉氏から、また、日本私立大学連盟常務理事・日本大学総長瀬在幸安氏からそれぞれ創立八十周年に對する祝辞が述べられました。

続いて、祝電披露と八十周年を記念して多額の寄付をされた東邦大学名誉理事長柴田洋子氏に對して野口理事長より感謝状が贈呈されました。

その後、東邦大学八十年の歴史がVTRで紹介され、会場いっぱいのお出席者からは創立以来永きに亘って刻まれた数々の教育功績と高貴な伝統を改めて確認し合う様子が窺えました。

祝賀会では、野口理事長の挨拶から始まり、薬学部鶴風会理事長福武勝彦氏、理学部鶴風会理事長登坂邦雄氏の挨拶もありました。続いて来賓の日本私立医科大学協会会長川崎徳氏、日

本私立薬科大学協会会長宮崎利夫氏からの祝辞がありました。次に祝賀会をさらに盛り上げるイベントとして来賓・法人・教職員・卒業生ほか関係者による鏡割りが行われ、その直後に僭越ながら私の発声で乾杯となりました。以後会場内では祝賀会に花を添えるかのようにあちこちで楽しい懇談が続く、閉会となりました。

母校セミナー館については、別項でもご案内の通り、七月九日（土）に、同館内で学校法人ほか関係者の出席で竣工式及び懇親パーティが開催されました。その完成記念に母校に對して本同窓会より二十万円の寄付をさせていただきました。この寄付金は申すまでもなく会員の皆様よりお預かりした会費の一部で、同館の施設充実や後輩たちの教育資金などに活用していただくことを主目的として贈呈したものです。会員の皆様には趣旨ご理解のほどをお願いいたします。

尚、本年度の総会は、装いも新たになった同館にて行いますので、母校見学方々奮ってご参加くださるようお願いいたします。



前校長 伊藤恒之先生よりの書
(p.7 上段に説明がございます)

“PER ASPERA AD ASTRA”

— 困苦を越えて星座（栄光）へ —

校長 秋 山 尚 功



はじめに

今春久し振りに剪定した校庭の大銀杏。秋頃にはどうなるか気が掛かりでしたが、青葉が勢

いを見せ始めた。同窓会の皆様には、今年度も宜しくご支援の程をお願い致します。

◇生徒の動向等 今年も中高校合わせて約二千名の生徒が自分の目標に向かって地道に取り組んでいます。本校では最近中高六カ年一貫教育のメリットを生かすため、中高間の教員交流や「早期完習体制（高3一学期末完了の教育課程）の導入や、高大連携による「学問体験講座」の実施等、教育内容の改善充実に努めています。生徒の進路も医・薬・歯を中心に理系志向が強く、今後更なる発展を目指すことが課題です。生徒の進路相談等では、先輩の体験談等が関心を集めていますので、様々な形でご協力を頂きたいと思っています。

◇先輩の授業（2） 昨年に続き、高大連携の「学問体験講座」では、東邦大学医学部の小林一雄先生（本校第七期卒・野球部）をお招きしました。テーマは「医療におけるQOLとインフォームド・コンセント」で、先生の大学での

授業を基にされた講義でした。受講した本校生徒の反応も好評でした。私の印象に残った点は、①QOL（Quality of life）、②授業後の小テストです。①は、これまでの「救命延命を第一とする」治療から、「命の質を尊重する」（患者の生きる喜びを保障する）治療への転換を図るという最近の医療の基本理念。②は、当該授業を生徒がどこまで理解したか（させられたか）をその場で測定し、指導者自らの反省に供する実践です。大学の授業も学生の学習支援を中心に改革を進めている現実を知り、本校も参考にしたと思います。

◇新食堂棟の完成 東邦大学は今年創立八十年を迎えました。本校も平成十四年度に創立五十（高校）・四十（中学）周年を祝いました。実はその時点で記念施設の建設も考えましたが、準備が間に合いませんでした。

そこで、それとは別に、平成十三年度策定の中長期経営計画の中で、懸案の旧食堂棟の改築計画を進展させる形で、新しい教育を実現する夢の施設を建設する計画を構想しました。法人本部と協議を重ね、同窓会鮎川会長や習志会の皆様方のご理解・ご支援を頂いて、二年半の工期で漸く竣工しました。同窓会からは、建築資金の一部として多額のご寄付を頂きました。厚く御礼を申し上げます。

因みに、新棟（鉄筋五階建て）の施設は次の

とおりです（食堂四百席・売店・同窓会室・習志会室・応接室・大会議室・IT教室・特別演習室・大視聴覚ホール・天体観測室、等。エレベーター付き）。

同窓会の諸活動等にも是非ご利用ください。◇定礎の揮毫 設置者を代表して法人本部野口鉄也理事長に揮毫をお願いしました。

また建物の名称については、生徒・保護者・同窓生・教職員等からの応募案等も含めて、校内で検討し、正式名称を「セミナー館」と決定しました。なお、ご応募頂いた方々の生徒・後輩・母校に寄せる温かい心情を生かす方策について思案を巡らせ、額田先生による「自然・生命・人間」の建学理念、教育方針、校歌、校風等を貫く伝統の脈流を踏まえて、新たに「学灯三基」を定め、生徒への「勧学の辞」として館内に掲げることになりました。

ご来校の折りにでも是非ご覧ください。

NATURA VITA HOMO
自 然 生 命 人 間
学 灯 三 基
BERITAS NOS LIBERABIT
真理は われらを 自由にする
PER ASPERA AD ASTRA
困苦を超えて 星座（栄光）へ
EX ORIENTE LUX
光は 東方（邦）より

（なお、表題の句は同窓教員からの応募です。閉鎖された白羽寮は、合宿等の施設として活用していく予定です。）

むすびに 今後とも教職員一同、母校の発展に微力を尽くす所存です。一層のご理解とご支援を頂きますようお願い致します。

同窓会のこの一年

同窓会理事 御 喜 和(十八期生 母校教諭)

会長の挨拶にもございますように、今年度の総会は、「新棟（セミナー館完成を祝し）」を使用してとりおこないたい」という思いから、八月二十七日とさせていただきます。それに伴い、会報発刊も例年より約二ヶ月遅れとなりましたことをご理解下さい。

平成十六年四月から平成十七年七月までの同窓会の活動を簡単に報告いたします。

同窓会総会・懇親会



平成十六年度総会は、会報「ならし」の第一四号に提示された議案を中心に予定通り進められ、決算報告、事業報告、予算案、事業計画案等、すべて承認されました。また、総会にご臨席の校長先生や進路指導部長の山岸先生から母校の近況についてのご報告をいただきました。

総会終了後、会場を宴会場に移して行なわれた懇親会は、東邦大学理事長、野口鉄也先生も駆けつけて下さり、試験などの関係で総会に参加できなかった新会員も百名以上も加わって、とても盛況になりました。

(平成十六年六月十二日)



総会 鮎川会長挨拶

総会・懇親会



懇親会

新人生への「自然・生命・人間 の復刻本」贈呈



東邦中・高への入学を祝し、例年通り、学祖、額田 晋先生著「自然・生命・人間」の復刻本を新人生全員に寄贈しました。

(平成十六年四月九日、平成十七年四月九日)

卒業記念品の贈呈



卒業を祝し、例年通り、「ペン型印鑑」と、「鮎川二郎会長デザインの特製ペーパーバッグ」を卒業生全員に贈呈しました。

(平成十七年三月二日)

臨時会報の発行



今年度から新入会員に対して、「臨時会報」を作成・配布することに致しました。会報には、同窓会組織・規約の説明、高校卒業生への祝詞と激励などを盛り込みました。

(平成十七年三月二日新入会員に配布)

同窓会入会式・母校卒業式



平成十七年三月二日(卒業式の前日)、母校体育館で同窓会入会式が行われました。同窓会を代表して棕原理事が「激励のスピーチ」を行いました。製菓会社の重役としての経験に基づいて「英会話力の重要性」を訴えた同氏のスピーチは卒業生にはとても興味深かったようです。

翌三月三日、母校体育館で卒業式(卒業生三七三名)が挙行され、同窓会を代表して鮎川二郎会長が祝辞を述べました。

平成十七年度入学式



四月九日、母校体育館で中学校・高等学校の入学式が挙行され、同窓会を代表して鮎川二郎会長が祝辞を述べました。

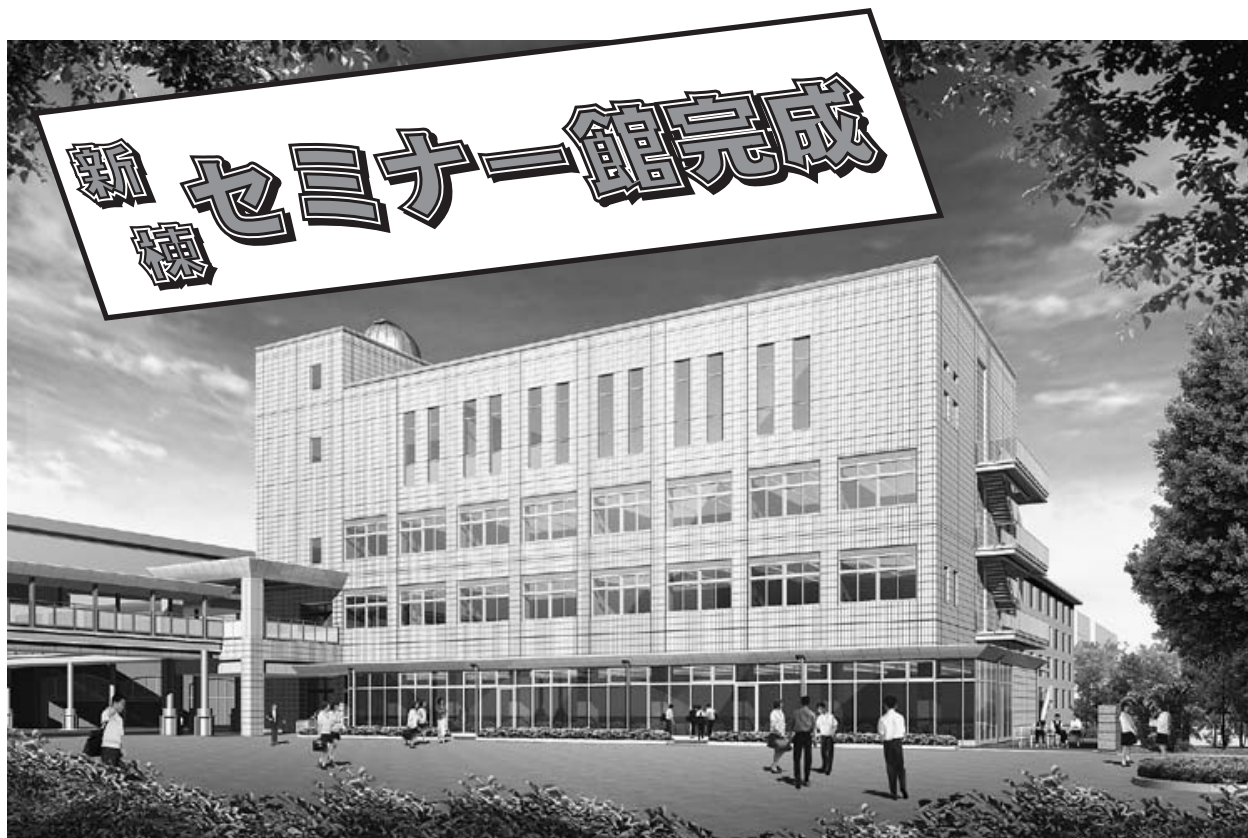
学校法人東邦大学創立八十周年 記念式典・祝賀会への参加



平成十七年六月十二日、品川区の新高輪プリンスホテル国際館パミールにおいて、東邦大学創立八十周年記念式典・祝賀会が行われました。同窓会から鮎川会長以下役員八名が参加しました。



鮎川会長による乾杯の音頭
「自然・生命・人間」の復刻本を手にして



母校の新棟(セミナー館)完成

校長先生のご挨拶の中にもありますように、母校の寮・食堂の跡地に建設中であった新棟が平成17年7月、完成・オープンしました。

竣工式・落慶式・祝賀会

平成十七年七月九日、新棟(セミナー館)四階の視聴覚大ホールにおいて、竣工式神事が厳粛に営まれました。同窓会からは鮎川会長が会を代表して出席しました。神事終了後、一階のカフェテリアにおいて、ご来賓、学校関係者多数の臨席のもと、祝賀会が行われました。同窓会からは鮎川会長以下役員八名が参加しました。

同窓会からの寄付に関して

昨年度の定例総会で鮎川会長から「新棟建設にあたっての寄付」について、基本的な考え方の説明がありました。この考え方に従って、七月九日の竣工祝賀会会場において、「金貳千万円」の目録贈呈を行いました。寄付の目的は、「セミナー館の教育設備(五階天体観測室の設備等)充実のため」とさせて頂きました。

同窓会事務室の移転

セミナー館のオープンに伴い、同窓会事務室がセミナー館二階に移転しました。

同窓会事務局では、この移転を機に、電話番号・ファックス番号の変更する方向でことで準備をしています。

※当分の間は、現在の電話番号・ファックス番号をそのまま使用します。新規の電話・ファックスが決定しましたら、同窓会ホームページに掲載させていただきます。

セミナー館の主な設備

- 一階 カフェテリア
- 二階 購買、同窓会室、習志会室、応接室、メディアネットセンター、大会議室、IT教室
- 三階 視聴覚室、演習室
- 四階 視聴覚大ホール
- 五階 天体観測室

☆今度の同窓会総会にご出席くださった同窓会会員の皆様には施設ご紹介をさせていただきます。

前校長伊藤恒之先生より

前校長伊藤恒之先生から新棟完成を祝し、書を贈っていただきました。

祝新棟落成

新棟の落成を祝う

棟 蓼 開 華 五 十 年

棟 蓼 開 華 五 十 年

自然生命玉珠篇

自然 生命は 玉珠の篇

学園銀杏迎新棟

学園の銀杏は 新棟を迎え

師友折肱想古賢

師友は折肱して 古賢を想う

平成十七年乙酉七月 七十翁 伊藤 恒之

(注)

棟 蓼：にわうめの蓼。兄弟のこと。にわうめは互いによりあつて花を形成するので兄弟が助け合うことにたとえる。山田立夫氏の『額田宇多女史銅像の記』に「豊・晋の両君は天資純孝、才学双に優れ共に博士たり。璉篋（けんち）相和し棟蓼共に美にして、竟に杏林の盛を極めり」とあるに依る。

開 華：平成十四年東邦大学付属東邦高等学校創立五十年・東邦中学四十周年を迎えた。昭和二十七年創立。

玉 珠：「珠玉」に同じで、平仄をあわせるための倒置。

銀 杏：「自然・生命・人間」は学祖額田晋博士の東邦学園建学の理念を伝える名著。

新 棟：平成十七年七月セミナー館竣工披露・祝賀会開催される。

折 肱：「二たび肱（ひじ）を折りて良医と為る」。自身自身の肱の骨を何回も折って、苦痛を経験しながら治療してやっと良医になれるの意。何事も苦しい経験を積み重ねれば人間は円熟しないということ。

想古賢：「自分探しの旅」の勧め。

同窓生のページ

電車は列車の部分集合である

第48期 菊 池 英 仁

僕は現在、東京理科大学理工学部物理学科の第三学年に在学している。僕には、常に気になっていることが二つある。一つ目は、「ら抜き言葉」である。駅のホーム端に取り付けられた看板に、「ここからは出れません。改札口へお廻り下さい。駅長」とあるのを見て、私は不愉快になった。「ら抜き言葉」は、若者同士の話し言葉だけでなく、此の様な公共の場所に迄、「進出」してしまったのだろうか。

例えば、動詞「取る」は五段活用なので、「取ることが出来る」を意味する可能動詞「取れる」が存在する。が、下一段活用の動詞「食べる」に対しては、未然形に助動詞「られる」を接続させ、「食べられる」となる。上一段活用の動詞「見る」、カ行変格活用の動詞「来る」も同様で、それぞれ、「見られる」「来られる」が正しい。

「そんなの別にいいじゃないか」と云っていた私の高等学校時代の友人のH君、では君は「常識では考えられない出来事」「忘れられない思い出」等と言うのも「いいじゃないか」なのだろうか。私は明らかに不自然だと思うが。

二つ目は、「電車」である。H君には此のことは何度も説明したので良く分かって

いると思う。英語の問題集等で、train の和訳として「電車」を載せているものがあるが、此れは誤訳だ。鉄道用車両は、蒸気機関車 (steam locomotive)、電気機関車 (electric locomotive)、ディーゼル機関車 (diesel locomotive)、電車 (electric car)、気動車 (diesel car)、客車 (passenger car)、貨車 (freight car) の七種類に大別される。此等の車両を線路上を走行させる為に組成したものが、列車 (train) である。

例えば、電車を使用する列車を、電車列車と云う。電車と云う言葉には、車両としての意味と電車列車の略と云う二つの意味がある。後者の場合、意味としては「列車」に近い。要するに此处で電車と列車を混同してしまうと考えられる。

だが、気動車列車や客車列車は決して「電車」ではない。テレビ番組で気動車がやってくるのを、「電車がやって来ました」と云う語り手に腹を立てている今日この頃である。(冒頭の私の学年は、平成十六年度現在)

原稿募集

同窓会では、次回会報に記載する原稿を募集しております。

- ・ 内容・近況等ご自由に
- ・ 字数・一〇〇〇字程度
- ・ 送付先・習志野市泉町二一三三七 東邦大学付属東邦中高同窓会
- 「ならしの」原稿係
- FAX 〇四七(四七二) 一一六〇
- 発行予定・平成十八年五月頃

特別寄稿

学校法人

創立八十周年を迎えて



学校法人東邦大学理事長
野口鉄也

去る六月十二日、学校法人東邦大学創立八十周年記念式典を各学部校同窓会協賛のもとで、盛大に執り行なうことができました。ご報告と同時に、ご協力を心から感謝申し上げます。

私は式辞の中で、大正十四年、第一回医学専門学校入学式の学祖額田豊理事長の式辞をご紹介します。

『私財を投入して念願の女医学校を作ったわけは、大正事業の蔭には必ず女性の力があるの、医学の発達にも女子教育が大切であると考えたからである。また幼くして父を失った後の母の労苦に報ゆるためである。学校の発展のためには、皆が規律ある生活をして健康を保ち、また日常人格の修養に心がけ、学問については点数より実力を養うよう望む』

ご臨席された母宇多女史への誓いの言葉であつたと思います。

この約束を中等教育の中で実践しているのが付属東邦中・高です。

ご存知のように、現在、わが国の医療提供体制の不備が問われています。古くて・新しい課題です。地域医療に携わる医師と実働薬剤師数の正しい算定と将来への予測ができていないのです。

問題解決には女性有資格者の実働数の算定が必須です。

女性の一生の中で妊娠・育児など仕事を離れる期間の算定が極めて難しいのです。同時に、男性と比較して、女医の選択する診療科も女性薬剤師の勤務にも偏りがあります。

従って、選択分野を考慮せずに、医師と薬剤師の多少を問うことはできません。

一九九二年の新聞にこんな記事がありました。

『二八四二年の創設以来、ウイーン・フィルは団員たちによって自主運営されてきた。一貫して団員は男性のみに限定されていた。世界の一流オーケストラの中で男性主義を貫いてきたのはウイーン・フィルだけである。』

人権団体などから批判され、オーストリア政府も、男女差別を改めないと国庫補助をカットすると警告した。

今年（一九九二年）、やっと「女人禁制」を解除した。

『音楽学校の生徒の六十五パーセントが女性で、このことだけでも女性を受け入れる必要を示している。また、才能のある演奏者の数が減って男性主義を維持できなくなった』が理由でした。

『十年後にはかなりの数の女性が演奏していることになるであろう』が予測でした。

私は毎年欠かさずどの国にいてもニュー・イ

ヤー・コンサートの中継を視聴していましたが、十年後にやっと女性のハープ奏者にお目にかかりました。

とかく予測は外れるものです。

閑話休題

「ウイーン・フィル」を「学部」、「演奏者」を「医師・薬剤師」、選択する「楽器」を「診療科」と読み替えると全く同じ現象が医療界で起っているのです。

一九八五年の「オオカミ少年」は「医師過剰時代の到来」と喧しく吠え立てました。

二〇年後の今年、研修制度の義務化が始まると「地方の医療提供体制」が成り立たないと泣き言です。

この間の国策変化は「厚生省」と「労働省」が一緒になり、「文部省」に「科学」が付いただけです。

予測の外れ方は尋常ではありません。「国家百年の計」のデータ・ベースがないのです。

忘れてならないのは「心ある医療提供者」が「9時5時の労働者」になったことです。相反する前者は「厚生省」の理想でしょう。後者は「労働省」の考えです。「文部科学省」は「医療教育」は素人です。

私は式典中に、額田晋校長の

『古来の聖人哲人は道を説きながら常に医術を行っているので、皆さんも社会の指導者にならねばならない。私は皆さんの力で初めて社会人類に対する真心を払めることを期待している』という式辞を思い出し、

本学に席を置く者は須らく、国策の混乱の中でも、敢えて両学祖の理想を守り、「科学教育、特に女子の科学教育」を永続し、発展させなければならぬと改めて心に刻みました。

高間先生を偲んで

第 34 期 宮 島 知 里

中学一年 A 組高間ルーム——それが、私の東邦生活の始まりでした。三歳年上の兄も中一の時に高間ルームだったこともあり、これも何かの縁だったのだと思います。思い出は数々ありますが、その中からいくつかを書き連ねていこうと思います。

①ホームルーム：ホームルームは担任の独壇場でした。朝のホームルームはもちろん、帰りのホームルームでは高間先生の人生観をとことんお話しされていました。「山は男のロマンだ！」愛とはなんだ！」「人生はマラソンだ！」などなど。ご自身の体験をもとに展開される高間ワールドは尽きることなく、高間ルームはいつも下校時間が遅くなりました。ホームルームが延びて部活動に遅刻しても「高間ルームじゃしょうがないよね」と先輩からしみじみ言われたことを今でも覚えています。

②授業：マッチの擦り方、ガスバーナーの使い方、レポートの書き方。高間先生の授業で印象に残っているのはこの三点です。なんといっても一学期のあいだ、それだけをやるのですから。今思えば、実験の危険さを充分生徒に理解させたかったというのが先生の目的だったのかもしれないですね。そして夏休みの課題は決まって「ロウソクの科学」。東邦生なら、一度は読んだ（読まされた？）経験があると思います。おかげで本屋から「ロウソクの科学」がすべてなくなり、入手困難になったとか。

③修学旅行：私が中一だった当時、東邦中では中一が箱根一泊旅行、中二が磐梯二泊旅行、中三が京都三泊旅行という校外学習プログラムでした。それが、我々の学年

が中二になった時から、中一・中二は日帰りの遠足、中三が京都二泊旅行：という形に変更されたのです。それだけでも我々生徒は文句タラタラだったのですが、なんと我々の学年は中三「磐梯山登り」旅行に決定したのでした。なんでウチの学年だけ京都じゃないの？　なんで山登りなの？と、不満がつのりましたが、生徒の間では「学年主任が高間先生だからだろう」という結論にいたり、納得せざるを得ませんでした。さて、その修学旅行「磐梯登山」をメインにすえた旅行計画だったのですが、当日雨天のため結局一番のメインイベントを行わずに帰路につくこととなりました。そして、翌年からの中三修学旅行先は京都に戻ったとのことでした。なぜ我々の学年だけ磐梯だったのでしょうか。真実は今も闇の中です。

：他にも高間先生を語るエピソードはたくさんありますが、あれほどこインパクトのある先生はもう現れないのではないかと思います。間違いなく東邦の名物教師でした。

先日の告別式では、多くの世代にわたる東邦生が多数出席していました。高間先生は、たくさんさんの生徒たちに愛されていたということを実感しました。高間先生、天国のお酒はおいしいですか？　そのうち一緒に飲みましょうね。

高間先生と教え子との写真



◆訃報

平成十七年四月二十七日、高間平三先生が膀胱癌のためご逝去されました。（享年六十七）謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

「東京物語散歩」の試みと 本になった『東京「探見」』

堀越 正光

「生徒から希望者を募って、物語に關係する東京の場所を案内してみたい」。

およそ十年ほど前、このような思いから「文学散歩」の企画がたちあがりしました。学生時代から折に触れて東京のあちこちを歩き回っていたものですが、東京の街がいかに面白さにあふれた場所であるかは十分に認識しています。生徒と街歩きの面白さを共有できないものか、ということをしていろいろと考えていたのです。街歩きは最近静かなブームになってきていることからもうかがえるように、様々な楽しみ方があります。こちらは国語科の教員ですから、国語に關することを中心に企画を考えてみようと思いました。

いわゆる「東京文学散歩」ということに關しては野田宇太郎氏をはじめ、多くのすぐれた先輩がいらっしゃいます。コースをうまく選択すれば、資料を集めるのはそれほど難しくありません。ただ、そこでちょっと考えました。何かひと味加えられないものだろうか、と。

散

歩



そこで思いついたのが、紹介する内容を小説に限定せず、伝説や落語など、「物語一般」に広げることでした。学生時代から私はよく東京の街を歩いていた、と書きましたが、当時のその目的は文学の關係地を探るといふより、実は伝説や落語の舞台を見てみたいということが中心だったのです。そういう方向から光を当ててみると、生徒にも面白がつてもらえそうなスポットがかなりたくさん見つかるのでした。

そしてもう一つ。現代の作家・作品に關係する場所をなるべく多く盛り込もう、ということも考えました。今までの文学散歩案内のほとんどは、夏目漱石や森鴎外、樋口一葉など、いわゆる超有名どころに關係する場所が記載の中心になっていたのです。文学に強い興味関心を抱いている人ならばそれで十分に面白いかもしれません。でも相手は高校生です。ただでさえ活字離れが進んでいる彼らに、文豪の名を突きつけても敬遠されるのがオチだと思いました。それよりも宮部みゆきや京極夏彦など、高校生にもよく知られ、かつ熱烈なファンもいる作家を取り上げた方が彼らに振り向いてもらえるのではないかと考えたのです。

一九九六年の十月二十七日、第一回の「東京探見」は行われました。対象はその時授業を持っていた高一でしたが、どのくらい参加してくれるか、大変不安でした。なぜなら、その時使っていた旅行保険が、十名以上の参加という条件のものだったからです。幸い、次第に参加申込書が増えてきて、最終的に十六名の参加者を得ることができました。快晴に恵まれた一日でした。参加してくれた生徒の反応もまずまずだったように思います。

その時の成功に味を占め、毎年数回、希望生徒を連れて東京を案内し

て、今年の五月で二十四回を数えることとなりました。うれしいことに高一から高三までの三年間「皆勤」してくれた生徒もいました。初めは生徒だけだったのですが、ある時「保護者も参加したいが如何？」という問い合わせがあり、保護者の中にもお好きな方がいらっしやるのだということがわかりました。そして時には卒業生が参加してくれることもあります。たいへんありがたいことです。

案内に用いた資料はHPにアップしました。するとそれを見た東京の国立大学の先生から、日本文化を学ぶ留学生を連れて参加したいが、かまわないか、というメールももらったりしました。もちろんこちらに支障などありません。一緒に歩いてもいいました。生徒は留学生の日本文学・日本文化に対する造詣の深さにびっくりしていました。そんな思わぬ「効果」もありました。

おかげさまで、現在では一回の参加者が三十人を越える場合もあります。案内する場所は、決して名所ではありません。何の変哲もないただの街中です。時にはコイン駐車場の前、時には普通の民家の前などで、たくさん的高校生と数人の大人が集まってこちらの説明を聞いています。はたから見ると実にあやしい集団です。ある時などは、警察官の職務質問を受けたりもしました。よほどあやしかったのでしょうか。

用いる資料も回を重ねる毎に次第に充実してきました。もちろんそれには国語科を初めとする同僚の方たちの数多くの情報提供・協力があつたことは言うまでもありません。そして時には生徒からも情報をもらいました。ある年、麻布十番を歩いていたら、その時の参加者の一人が、「あれっ、こいつてひょっとしてセーラー月ーンの舞台？」と言ったのです。後で調べてみると、確かにその通りなものでした。地元の人話によると、セーラー月ーンの原作者は無名時代に麻布十番のアパートに住み、自分の住む麻布十番を舞台に漫画を書いたのだそうです。翌年の資料にその情報が盛り込まれたのは言うまでもありません。

このように、「東京物語散歩」は多くの人の協

文 学



だということが、お会いしてはじめてわかりました。その方の娘さんが東邦の卒業生で、堀越も授業をうけもったこともある子だったのです。なんとという縁の深さでしょう。ここまでくると不思議を感じてしまいます。

本となつてまとまりましたが、この企画はこれからも継続させていくつもりです。今まで行ったコースは更なる充実を目指し、また、新たなコースの発掘にも努めたいと思っています。どうかご指導下さいますようお願い致します。

堀越正光著『東京「探見」』

評者 大塚 敏久

この同窓会報をご覧になっていらっしゃる皆さんの中には、あるいは、すでにこの『東京「探見」』に関する新聞記事を読まれたという方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。千葉日報および朝

方に支えられてここまで来しました。そして今回、たまたま私のHPが出版社の方の目にとまったことがきっかけで、本の形となつて出版されることになりました。

HPを見てくださった出版社の方は、なんと東邦の卒業生でした。その後、千葉日報でこの本の紹介記事が掲載されましたが、その時取材を担当した記者の方も東邦の関係者

日新聞の地域面では堀越先生の写真入りで紹介があり、毎日新聞でも一般の著作の紹介記事の一つとして取り上げられました。その後を受ける形になつてしまい、また、先輩である堀越先生に対して「書評」というのはおこがましいので、ここでは「文学散歩」の裏側に隠された堀越先生の取り組みを中心にお話ししようと思います。

堀越先生に学んだ同窓生の方なら、その誠実な人柄や学問に対する真摯な姿勢を肌で感じたことでしょう。「文学散歩」の取り組みは、まさにその人柄・姿勢から生み出されたものです。

「文学散歩」の実施の一週間前には、事前にそのコースを歩き、全体の時間を考えて見学するところの取捨選択をなさっています。生徒（保護者もですが）を引率するのですから、事前チェックは当然とも言えそうですが、堀越先生の場合は、その下見以前に休みの日にはあちこち都内を歩き回り、その中で散歩道として経由する場所を考えているのです。また、地元の方々に直接話をうかがうことも欠かしません。そうして地元ならではの裏話が盛り込まれ、「文学散歩」当日の舞台紹介に花を添えます。このあたりにも先生の誠実さがうかがえるのではないのでしょうか。もともと、先生ご自身あれこれと見て歩くのが好きだそうで、何よりも自分が楽しむというのがこの「文学散歩」の原点であり、十年間続いている理由でもあります。

このような下準備があつて、当日に配布する資料作成に入るわけですが、この資料は時には七十ページにも及ぶ膨大な冊子となることもあります。しかも参加者全員分（三十人以上のこともあります）を用意しなければなりませんから、これも大変な時間と労力を要します。もともと、最近「文学散歩」の資料づくりの頃になると、本当にたまたまなのですけれども、卒業生が研究室に顔を出すことが重なり、資料の製本を手伝ってもらふことというが続いておられます。ぜひこの記事を読まれた同窓生の皆さん、この流れが途切れないように、「文学散歩」の実施日の数日前に

研究室を訪ねるようにしてください（笑）。

このように「文学散歩」を行うたびに出していた資料を基にしてできあがったのが今回の『東京「探見」』です。この本の中では、「浅草・向島編」、「青山・麻布編」、「新宿編」、「小石川編」、「本郷・谷中編」という五つのルートが紹介されています。「文学散歩」は高校生がお休みの平日に行っていますので、同窓生の方々にご参加いただくのはなかなか難しいと思われまふので、この『東京「探見」』を片手にお出かけになつてはいかがでしょうか。舞台として紹介されている土地に佇み、書を広げれば、堀越先生の口調さながらの語りが傍らに再現し、仕事の疲れを癒す非日常の世界がそこに繰り広げられることでしょう。

この本の中にも記されていることですが、堀越先生の「文学散歩」は、ただ文豪と呼ばれる人の作品舞台をたどるものではなく、現代作家の作品もあれば、落語や怪談、その土地にまつわる伝承などもあり、あくまでも私たちが歩く道中において展開された人間ドラマをめぐるものです。目の前に見える風景は必ずしも紹介される作品内容と合致するものではありません。都内の風景は日々変化を遂げており、舞台となった建物なども失われてしまっていることも多いのです。よって、語られている言葉からどのような場所でありどんな風にしてその人物が生きていたのか、自分自身の頭の中で想像するしかありません。堀越先生の「文学散歩」におけるキーワードはまさにこの「想像力」です。「想像力」を駆使して、一人一人が自分なりの語りの世界に浸る……それが「文学散歩」の楽しみです。

ぜひこの『東京「探見」』をお読みいただき、高校時代のみずみずしい感性（想像力）の世界をよみがえらせていただければ、と思います。

「付記」堀越正光著『東京「探見」』は、同窓会総会当日に会員割引にて販売いたします。また、本書に関する問い合わせは同窓会事務までお願いいたします。

学 校 の 近 況

一、在籍数（平成十七年四月現在）

《中 学》

	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	計
男子	167 名	193 名	193 名	553 名
女子	114 名	126 名	112 名	352 名
合計	281 名	319 名	305 名	905 名
学級数	7	8	7	22

《高 校》

	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	計
男子	203 名	206 名	227 名	636 名
女子	153 名	142 名	148 名	443 名
合計	356 名	348 名	375 名	1079 名
学級数	9	9	10	28

二、平成十七年度 主な学校行事の日程

体育祭（中学）十月一日（土）

九時から一般公開します。

（高校）六月九日（木）

終了しました。

文化祭「銀杏祭」（中高合同）

九月十七日（土）・九月十八日（日）

一般公開は土曜が十二時から、日曜は九時からです。

入学学力検査

中学校

前期……………平成十八年一月二十日

後期……………平成十八年二月二日

高校

自己推薦型入試……………平成十八年一月十六日

学力検査型入試……………平成十八年一月十六日

学校説明会・学校見学会

中学

学校説明会 ①十月二十四日（月）

②十月二十五日（火）

・両日とも十四時～十五時半

・於 第一体育館アリーナ

・予約、上履きともに不要です。

・個別の学校見学

・原則として土曜日の十時に本館

・要電話予約 上履き持参

・要電話予約 上履き持参

・要電話予約 上履き持参

・要電話予約 上履き持参

・要電話予約 上履き持参

・要電話予約 上履き持参

・要電話予約 上履き持参

・要電話予約 上履き持参

・要電話予約 上履き持参

・要電話予約 上履き持参

※ TEL 047-472-8191

三、部活動の活躍

（平成十六年四月～十七年三月）

中 学

●ハンドボール部

県大会

男子 3 位

●硬式テニス部

県大会

団体戦準優勝

●水泳部

県大会

団体 2 種目出場

●オーケストラ部

定期演奏会

（十一月）

高 校

●硬式テニス部

県大会

男子 ベスト 16

●ハンドボール部

県大会

男子 ベスト 4 / 女子 本戦出場

●バスケットボール部

県大会

男子 3 位 / 女子 3 位

●硬式野球部

県大会

男子 2 回戦 / 女子 1 回戦

●水泳部

県大会

男子 3 位 / 女子 3 位

●柔道部

県大会

男子 4 位 / 女子 3 位

●卓球部

県大会

男子 2 位 / 女子 2 位

●スキー部

県大会

男子 6 位 / 女子 3・4 位

●吹奏楽部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

●演劇部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

●吹奏楽部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

●演劇部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

●吹奏楽部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

●演劇部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

●吹奏楽部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

●演劇部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

●吹奏楽部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

●演劇部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

●吹奏楽部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

●演劇部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

●吹奏楽部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

●演劇部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

●吹奏楽部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

●演劇部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

●吹奏楽部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

●演劇部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

●吹奏楽部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

●演劇部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

●吹奏楽部

県大会

個人賞・新人賞・音響賞受賞

退職にあたって

各人の努力が築く誇れる母校に！

小池紀代子

近代的な特別棟に続いて又々今春は多目的機能を加えた新棟が完成。東邦は更に大きくなりました。東邦高と私との出会いから既に三十年以上。故郷の公立高校で英語教師としてスタートした自分は親元へのみ留められていた生活を変えたいと決心し上京、語学を生かせる商社へ。でもすぐに自分にとってはやはり生徒さん達と接し教えるということ、又自分も学問継続が出来るということに対する充実感を再認識。

そんな折当時の学校長下村弘毅先生から「是非——」とお電話に接し、公立私立の違いも知らぬまま赴任させていただきました。現在の薬理学部が在る所——元陸軍兵舎改造の床のきしむ木造校舎にはびっくり。が、その後すぐ現在の地の新校舎に移転。教職員、生徒共々喜々としてリヤカーを何度も引き廻しての引越でした。が、その情景が彼ら一人一人の笑顔と共に懐しく蘇ってきます。創立者らの強い信念と厳しい努力の基に次第に私立校としては県下トップの座を維持して来ました。当時はまだ高校主体として一般生（高入生）をより多く受け入れ、付中は二クラスだけ。義務教育として高校とはきっぱり分離され、高校入試では一部生徒は二次まで課されたり。でも付中出身生といえは生真面目でやさしく、大人し過ぎる程の特徴を持ち、高入生共々優秀生も増え続けました。新校舎の床を傷つけまいと私のクラスではめいめいが雑巾を所持し終令と共にさつと自分の机の下

と周辺をから拭きしたものでした。グットアイディア！でも彼らの内心は？

現在テニスコートの所には習志館（志しを立て習学する館）が在り、部活合宿等に多用されましたが、「医薬特進者特訓合宿ゼミ」にも利用。古くて暗い所でしたが夜中まで教師。生徒共々目を輝かせて励み合ったことも温か味ある思い出です。何事でも後になって分かるもの。日々少しずつでも学校主体に真摯に努力し合っていることが次第に成長し遅くなっていくことを。この間自分は他分野の学問のやり直しか、他校へも等考えもしたかもしれないが、やはりこの目の前で日々成長していくさまで、な生徒に少しでも多くを習得して欲しいという強い想いと明日へ明日へと継続されていく流れから決して離れられず、喜怒哀楽を共にしそれらすべてが自分の生き甲斐として今までやってこられました。

中学生を教えた時は、彼らの幼さ・純粋性に触れ、又英語習得にとって入門期がいかにか大切かを実感して一層力が入り、英検全国二・五位の優秀校維持などにも励まされ、特に彼らとはより強い絆として現在も親交が続いたりしています。自分のそんな生き甲斐がふとした心の弱さからか、切れてしまった……。でも同窓生の皆さんと同様人生の大切な大きな場として残されました。六ヶ年教育としての長所を生かせる良き場にいる皆さん、中学部ではあらゆる物に誠実な努力であり土台を築き、後はその上に枝葉を茂らせて逞しい自分を造って下さい。そんな一人一人の成果が「誇れる我が母校！」となって残されます。東邦の目指す額田先生の『自然・生命・人間』の精神の深さがある良書を再読されることににより一層感受されることを願っています。最後に東邦を築いてこられた同窓生の皆さん、携わってこられた諸先生方、更なるご活躍をお祈り致し、お礼申し上げます。

「顔晴りましょうー！」

峯岸 識子

『出会いには宝である』と言いますが、私は東邦大学付属東邦中・高等学校の諸先生方、ご父兄、生徒達に恵まれ、日々過ごさせて頂いた事を心より感謝いたします。本当にありがとうございました。純粹で人生の中で心身ともに一番大きく成長する元氣な生徒達との毎日の授業や生活において、はたして一教員としてどれだけの貢献が出来たのかと振り返ると、生徒を導く役割を強く求められる立場であると十分分かってきたものの、未熟ながらその時その時を出来る限り精一杯、生徒と向かい合い、共に走ってきたことしか思い出せない自分がいます。そして、今年三月、東邦高校を卒業した生徒達とは、また私にとって教員生活最後の五年間は、特に充実した内容の濃い時間を過ごさせて頂きました。「何故」と考えた時に、即座に思い浮かんだのが「いつも素直に明るく、そして仲間の一人一人と力を合わせたら素晴らしい感動が生み出せるという事をいくつも経験した生徒達がいだからである。」と思いました。東邦を巣立ち、これからそれぞれの道で大きく羽ばたいていくであろう頼もしい卒業生。またその足跡を間近で見ていた在校生の未来に心からエールを送りたいと思います。

東邦を離れ、約四ヶ月が過ぎようとしています。私の身の回りの環境、時間の流れが大きく変わった最近の出来事の一つに今、私の傍らで、八十一歳になる末期癌で医者から「今日明日の命と思われまますのでご親族の方に御連絡下さい。」と言われ、それから数日経つ義父の、ほぼ最後に近いと思われる寝息を聞きながら、また呼吸を確かめながらこの文章を書いていきます。水さえ満足に飲めずにいる状況の中で生命の力強さを感じつつも、人間には「平等な死」が

確実であり、どんなに高学歴で名誉があり、社会に大きな貢献をもたらした方であっても例外は無いのだと痛感しています。又、きっとそれぞれ人間の体内に、見えないが必ずあるであろう「寿命時計」の、最後の砂が流れ落ちるまでに、「人は何を見、感じ、決断し、何に時間と労力を注いだかによって、その人の人生が決まっています。」という事を我に返り思うとやはり親から与えられた一度きりの限りある人生、他人から何かを決められるのではなく、自分の信じた道を、楽しみながら悔いの無い様に歩まねばならないと思っています。そんな折、特に信仰する宗教を持たない私でも、最近読んだ本の中から心に響いた部分を抜粋して締めくくりたいと思います。

「世間で言われる『がんばる』は、『頑固に意地を張る』という意味なんですけど、そうやって神経を張り詰めているから、人生がおかしくなっちゃう。天の神様は、そんなこと望んでないよ。」

「晴れ晴れとした顔しなさい。顔晴れば、しあわせですよ」

そう神様は言っている。だから世間様から、『もつとがんばれ！』

と、いわれたら、神様が望んでいる顔晴で受け止めればいい。そして、

晴れ晴れとした顔をして、ニコッと笑って

『私、顔晴ります』

って言えばいいよ」

いつかどこかで又、たくさん顔晴る人たちに会えることを心から楽しみにしています。そして、その日のために、私自身ますます顔晴るに磨きをかけていきたいと思っています。

平成十七年度 入 試 結 果

進路指導部長 山岸 良二

「センター試験の結果」

本年一月に実施されました大学入試センターの結果は、全国的にみると英語が昨年度に比べて約十四点平均点が下がるという難化傾向でしたが、本校ではその英語も前年比約九点の低下にとどまりました。その上逆に物理、日本史、地理、政治経済などの個別教科では全国比でかなりの高得点となりました。そのため、国公立大への出願に当たっては例年以上に各自の第一志望を優先する生徒が増加しました。

結果としては、東大、京大、一橋大は例年並にとどまり、千葉大（昨年は史上最高の合格者数）、東工大（志願者動向でかなりの低下が予想された）などはここ二年と比較すると予想に反してやや振るわなかった数字となりました。しかし、後期で現役・浪人とも奮闘を見せてくれて千葉大医学部三名、筑波大医学部五名（看護保健を含む）をはじめ現役生だけに限定するならばここ三年間では一番良い成果となりました。

「私立大学の成果」

高校二年時から比べて現役生は英語の成績が上昇した流れを受けて文系組が頑張り、上智大は久しぶりに四十八人（昨年比十八人増、全国四位）、早稲田大も史上最高であった昨年八十一名を抜いて八十三名、慶應大も昨年以上の三十八名合格となりました。中堅大でも立教大、青山学院大、中央大が軒並み現役だけで前年比十人以上の合格増となりました。また、理系も東京理科大が二年連続の三ケタ合格となり、全国六位の百三十名を記録しました。

一方、本校から毎年多数の合格者を出す医学・歯学・薬学系は来年度からの「薬学六年制」を控えて苦戦が予想されましたが、現役生がよくがんばり八十二名合格（現役浪人計百四十九名）とここ五年では現役最高の成果を挙げました。因みに現役合格率は約七十四％で、実質進学率約六十七％でした。

大学名	合計	学部名	現役	既卒
早稲田大学	83	第一文	6	
		法	2	1
		政治経済	4	1
		商	6	2
		社会科学	3	2
		教育	6	4
		人間科学	3	3
		国際教養	2	1
		理工	19	16
		スポーツ	1	1
麻布大学	2	環境保健	1	
		獣医		1
関東学院大学	1	工	1	
桐蔭横浜大学	1	工	1	
金沢医科大学	2	医		2
北陸大学	1	薬	1	
愛知医科大学	1	医		1
同志社大学	4	文		1
		商	1	
		社会		1
		工		1
立命館大学	8	文	1	
		法	1	
		経営		1
		理工		4
		情報理工	1	
関西大学	1	工		1
近畿大学	2	生物理工		2
関西学院大学	2	法		1
		理工		1
甲南大学	1	経営		1
兵庫医科大学	1	医	1	
岡山理科大学	1	理		1
川崎医科大学	1	医		1
福岡大学	1	薬	1	
私立大計	997		609	388

【その他】

防衛大学	1			1
帝京短期大学	1			1
東京農大短大部	1		1	
神田外語学院	1		1	
その他計	4		2	2

総計	1120		686	434
----	------	--	-----	-----

現役は全データの集計、既卒は 4 月 18 日現在のもの

平成 17 年度入試 大学等合格者・進学者数

【国公立大学】

大学名	合計	学部名	現役	既卒
北海道大学	3	理	1	
		工	1	
		水産	1	
弘前大学	1	農学生命	1	
東北大学	1	工		1
秋田大学	1	工学資源		1
山形大学	1	理		1
		人文		1
茨城大学	3	理	1	
		農	1	
		医	2	3
筑波大学	13	第一学群	2	
		第二学群		1
		第三学群	5	
宇都宮大学	1	農	1	
群馬大学	2	医	1	1
埼玉大学	2	教育	1	
		工	1	
千葉大学	28	文	3	1
		法経	4	1
		教育	1	1
		理	3	1
		工	6	
		医	2	1
		薬	2	
		看護	1	
		園芸	1	
東京海洋大学	2	海洋科学	1	1
お茶の水女子大	1	生活科学		1
電気通信大学	3	電気通信	2	1
東京大学	4	理科一類	1	1
		理科二類	2	
東京医科歯科大	2	医		1
		歯		1
東京外国語大	1	外国語	1	
東京学芸大学	3	教育	2	1
東京工業大学	8	第3類	1	
		第5類	1	2
		第6類		1
		第7類	1	2
東京農工大学	8	工	3	2
		農	2	1
一橋大学	3	経済	1	
		社会	1	1
横浜国立大学	4	工	2	2
新潟大学	2	医	1	
		農	1	
富山医科薬科大	1	医		1
金沢大学	1	医		1
福井大学	1	工		1
信州大学	1	農		1
岐阜大学	1	応用生物	1	
名古屋大学	1	理		1
京都大学	3	理		1
		工	2	
京都工芸繊維大	1	工芸		1
愛媛大学	1	理	1	
大分大学	1	医		1
国際教養大学	1	国際教養	1	
福島県立医科大	1	医		1
首都大学東京	5	都市教養システム	2	1
		健康福祉	1	
横浜国立大学	1	国際総合	1	
名古屋国立大学	1	薬	1	

大学名	合計	学部名	現役	既卒
和歌山県立医科大	1	医		1
国公立計	119		75	44

【私立大学】

大学名	合計	学部名	現役	既卒
成城大学	10	文芸	3	
		法		3
		経済	1	2
		社会イノ	1	
清泉女子大学	1	文		1
		文	1	
		法		2
専修大学	7	経済	1	1
		商二		1
		経済二		1
創価大学	1	教育	1	
大正大学	1	人間A	1	
大東文化大学	3	外国語	2	
		環境創造	1	
玉川大学	2	農	1	1
		文	2	
		法	10	5
中央大学	62	総合政策	3	6
		経済	4	2
		商	3	2
		理工	12	13
津田塾大学	1	学芸	1	
帝京大学	4	医療技術	1	3
		理		2
		工	1	
		開発工		1
東海大学	10	電子情報		1
		医		1
		体育	1	
		海洋		3
東京医科大学	3	医	1	2
東京家政大学	2	家政		2
東京経済大学	1	経済		1
東京工科大学	5	メディア	1	2
		バイオニ		2
東京慈恵会医科大	2	医	1	1
東京女子大学	14	現代文化	4	
		文理	9	1
東京女子医科大	2	医		2
東京造形大学	1	造形	1	
東京電機大学	6	工	2	3
		情報環境	1	
		国際食料	2	
		地域環境	2	
東京農業大学	10	農	1	1
		応用生物	2	2
東京薬科大学	9	薬		3
		生命科学	3	3
		経営	1	
		理	18	10
		理二		1
		工	14	8
		理工	27	24
		基礎工	6	8
		薬	5	4
		理	9	4
東邦大学	54	医	10	1
		薬	28	2
		文	1	
東洋大学	3	法		1
		工		1
		法	3	
日本大学	43	経済		1
		商	1	5

大学名	合計	学部名	現役	既卒
日本大学	43	文理	2	
		工	1	
		生産工	5	2
		理工	3	2
		医	1	4
		歯		3
		松戸歯		2
		薬	3	1
		生物資源		2
		芸術	2	
日本歯科大学	3	歯	1	2
日本獣医畜産大	4	獣医		1
		応用生命	2	1
		文	4	2
日本女子大学	19	人間社会	7	1
		理	2	2
		家政	1	
日本女子体育大	1	体育	1	
国際医療福祉大	1	薬	1	
獨協医科大学	1	医		1
埼玉医科大学	2	医		2
城西大学	1	薬	1	
獨協大学	10	外国語	3	1
		経済	5	1
文教大学	2	人間科学	2	
		経済		2
明海大学	5	不動産		1
		歯		2
日本薬科大学	1	薬	1	
神田外語大学	1	外国語	1	
淑徳大学	2	総合福祉	2	
城西国際大学	6	薬	3	2
		メディア	1	
千葉工業大学	10	工	5	5
		現代ライ	2	
帝京平成大学	15	薬	9	1
		健康メデ	2	1
東京歯科大学	4	歯		4
千葉科学大学	2	危機管理	1	
		薬		1
		文	7	1
		法	1	1
青山学院大学	21	国際政経	1	
		経済	2	
		経営	1	
		理工	4	3
		文	6	1
学習院大学	15	法	3	
		経済	3	
		理	1	1
学習院女子大	2	国際文化	2	
		理	3	3
		医		1
北里大学	17	薬	1	2
		医療衛生	3	1
		獣医畜産	1	2
		文芸	1	
共立女子大学	4	国際文化	1	
		家政		2
共立薬科大学	9	薬	7	2
杏林大学	6	医		4
		保健		2
		文		1
		法	2	3
		経済	1	1
		商	3	3
		理工	11	8
		環境情報	3	
		看護医療		1

大学名	合計	学部名	現役	既卒
工学院大学	2	工	2	
國學院大学	3	文	2	
		法	1	
国際基督教大学	2	教養	1	1
		文	5	2
駒澤大学	12	法	3	
		経済		2
実践女子大学	1	生活科学		1
芝浦工業大学	20	工	8	7
		シス工	3	2
		医		1
順天堂大学	2	医療看護	1	
		文	1	
		外国語	2	1
上智大学	48	法	10	4
		経済	7	2
		総合人間	3	1
		理工	9	8
		医		2
		薬		3
昭和大学	5	人間社会	3	
昭和女子大学	6	人間文化		1
		生活科学	1	1
昭和薬科大学	1	薬	1	
女子栄養大学	1	栄養		1
白百合女子大学	1	文		1
		文		2
		法	1	1
		経済	2	1
		理工	1	1
		文	3	1
		法	5	2
		経済	1	2
		経営	8	1
法政大学	37	現代福祉	1	
		人間環境	1	
		情報科学	1	
		キャリア	3	
		工	4	4
星薬科大学	7	薬	2	5
		人文	1	
武蔵大学	4	経済	2	1
武蔵工業大学	2	工	1	1
武蔵野音楽大	1	音楽		1
武蔵野大学	3	人間関係	1	
		薬	1	1
武蔵野美術	1	造形	1	
		文	7	2
		法	8	4
		政治経済	7	3
		経営	3	3
		商	6	2
		情報コミ	5	
		理工	4	3
		農	5	1
		文	2	1
		心理	1	
		法	2	1
		経済	3	1
		社会	4	
		国際	1	
明治大学	66	薬	2	1
		文	8	2
		法	7	5
		経済	6	1
		社会	6	1
		観光	3	1
		コミュニ	4	1
		理	5	
明治学院大学	16	文	2	1
		法	2	1
		経済	3	1
明治薬科大学	3	薬		1
		文	8	2
		法	7	5
		経済	6	1
		社会	6	1
		観光	3	1
		コミュニ	4	1
		理	5	

新入会員を迎えて

同窓会は、この三月、三七三名の新しい仲間を迎えました。

新会員の希望に燃えたメッセージを紹介します。

ま

だ大学に入学して間もないですが、僕の大
学生生活について話したいと思います。一限
は九時から始まり、一コマ九十分で五限まであり
ます。たいてい必修科目は二、四限にあり、空い
たところに自分の好みで総合科目を入れて、理系
の人は一年生のうちはだいたい週十八コマも授業
をとっています。

大学生といえば、サークル、バイトなどがすぐ
に浮かぶでしょう。友達にはバイトで稼ぐ人、サー

クルで遊ぶ人、部活動に取り組む人など、みんな
それぞれ充実した生活を送っています。特にサー
クルは高校ではできなかったような活動がたくさ
んあり、大学に入って新しいことを始めたとい
う人が多く、みんな楽しんでいます。

大学の雰囲気、授業制度、設置学部などは様々
です。例えば、東大では一、二年生のうちは全科
類が教養学部所属するため、キャンパス内は文
理の分け目無くいろんな人であふれています。そ
のため、自然と知り合う機会が多くなります。

また、友達にはある資格を取るために、一番実
績のある大学を目指した人もいます。このように、
各大学の特徴などは調べてみるといろいろとある

同窓会事務局より

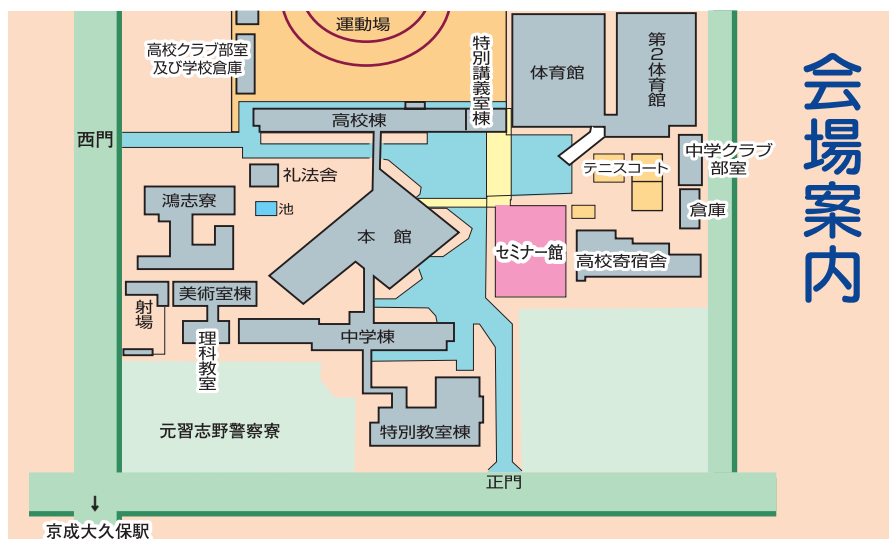
事務局担当理事 御喜 和
18 期生母校教員

- (1) 同窓会事務局がセミナー館 2 階へ移動しました
- (2) パート事務員の方の同窓会事務局での執務時間
水曜日 9:30 ~ 14:30
土曜日 9:30 ~ 14:30
同窓会へのお問い合わせは、なるべくこの時間帯にお願いします
直通電話 047-472-1160
* FAX 番号は電話番号と同じです
- (3) 緊急の連絡に関して
上記の執務時間以外は、同窓会室への電話連絡はできません
緊急のお問い合わせは学校代表
047-472-8191 にお電話いただき、「同窓会関係教員」を呼び出してください
- (4) ホームページ等に関して
URL <http://www.dosokai.org>
E-mail tohojh_dousoukai@yahoo.co.jp

ことが分かります。みなさん
もまだゆとりのあるこの時期
に志望する大学について詳しく
調べて、目標を明確に定め
てみてはいかがでしょう。た
だ、目標は高く持つほうがい
いと思います。学力は最後の
最後までいくらでも延びる可
能性があるので、あきらめず
に努力を続けてください。

福田 浩士
(第五十一期生東京大学理科 I 類入学)

会場案内



編集後記

母校の新棟完成や高間先生の訃報など同窓生の皆様にお知らせしたいことが多く、「同窓生の近況について」十分な紙面をとることができませんでしたことをお詫び申し上げます。

(会報ならしの編集委員会)